



▲グローブを手に笑顔を見せる甲佐小学校の児童たち

大谷選手からグローブの寄贈 本町の小学校4校に計12個のグローブ到着

国内の小学校に対しグローブを寄贈することを表明していた、ロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手から、町内の小学校4校に3個ずつ、計12個のグローブが届けられました。グローブを手にした児童たちは、早速キャッチボールを始めました。児童の1人は「このグローブを使って野球を楽しみたい」と話しました。



▲グループで地域活性化のための提案を話し合う生徒たち

甲佐高校生が地域活性化について考える 熊本大学工学部田中准教授講演会を開催

12月13日(水)甲佐高校で、探究活動の時間「クロスプラン」の一環として、熊本大学工学部田中尚人准教授の講演会が開催されました。今年度は、1年生を中心に陣ノ内城跡を訪れ、歴史や背景等について調査。地域活性化に向けた提案内容を議論しました。田中准教授から助言もあり、生徒たちは、学びの機会を通じ地域への理解を深めました。



▲真剣な表情で、自主防災組織の報告を聞く参加者

災害に備え連携強化を図る 自主防災組織と防災士会との合同研修開催

2月11日(日)町生涯学習センターホールで自主防災組織と甲佐町防災士あゆの会との合同研修会が開催されました。この研修は、両組織の連携強化による地域防災力の向上を目的として、甲佐町と甲佐町防災士あゆの会が主催。参加者たちは、西寒野地区及び芝原地区の自主防災組織の活動報告や国土交通省による防災講話に耳を傾けました。



▲甲佐町の自然環境から甲佐の歴史を学ぶ参加者

地形や緑川から甲佐の歴史に迫る 第25回新甲佐町史歴史研修会を開催

1月20日(土)町生涯学習センターホールで新甲佐町史歴史研修会が開催されました。新甲佐町史の編集者である、公益財団法人阿蘇火山博物館の池辺伸一郎館長が講師となり、「甲佐の地形及び地質と緑川」をテーマに講演。池辺館長は町の特徴的な地形や地質、断層にふれ「地形地質を知ることは、自然災害の要因を知り、身を守ることににつながる」と話しました。

甲佐中学校生徒が高齢者との対話を通して地域貢献活動 甲佐町子ども民生委員制度が始動

12月22日（金）、甲佐中学校校長室で1・2年生の生徒7人を対象に「甲佐町子ども民生委員委嘱状交付式」が行われ、甲佐町民生委員・児童委員協議会の森田義勝会長から一人ひとりに委嘱状が交付されました。

交付式で森田会長は、「皆さん一人ひとりが地域の一員として、高齢者と触れ合い、人を思いやることの大切さや、社会へ参画することの大切さを体験してください。」と挨拶。生徒たちは真剣にその言葉を受け止めた様子で、この活動を通して、「地域の中で自分にできること」を考え、実践していきます。

12月23日（土）から26日（火）にかけては、民生委員・児童委員の同行のもと、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、ガーデンシクラメンを手渡しました。

森田会長は、「子ども達には、今回の活動をきっかけに地域の支え合いの大切さを理解し、高齢者とのかわりのきっかけづくりをしてもらいたい」と話しました。



▲森田会長から委嘱状を受け取る生徒



▲高齢者宅を訪問し、ガーデンシクラメンを手渡す子ども民生委員

子ども民生委員とは

皆さん、子ども民生委員をご存じですか。初めて耳にされる方も多いと思います。

子ども民生委員は、地域に住む高齢者のお宅を訪問し、対話などコミュニケーションを通して、地域貢献活動を行います。

令和5年12月に誕生したばかりですが、一人暮らしのお年寄りの方たちからは、「元気で生き生きとした子どもたちと話す、こちらまで元気をもらえるようだ。」とのお声をいただいています。

この活動を通して、人を思いやることの大切さや地域の一員として社会参画していく意義を学び、将来地域の民生委員として活躍してくれることを期待しています。

子ども民生委員を経験してみて

今回の活動を通し、生徒たちは「地域との関わりを持つことがほとんど無いなかで、一人ひとりとゆっくりと向き合いながら話ができて、お花も喜んでもらってよかったです。大変貴重な経験をさせていただきました」、「日ごろ一人暮らしで寂しそうにしておられる方や何か心配を抱えておられる方のお宅を訪問し、いろいろ話すことで元気になられて良かったです。ボランティア活動でしか体験できない経験でした」と話しました。



▲子ども民生委員に就任した甲佐中学校の生徒たち